

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		公民館運営事業						予算事業名		公民館運営事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	社会教育法							
				10	05	04	20	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業						
		生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造														
		自ら学ぶ機会の充実						担当課係等		生涯学習課						
事業期間		継続 (昭和50年度～ 年度)														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する様々な市民講座を開設し、教育の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								市民誰もが、気軽に興味を持つような講座を実施し、受講した人が生涯学習として勉強できるきっかけづくりをする。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
公民館（市民）講座の開設 ①子育て講座 ②健康な身体づくり講座（体操・料理） ③趣味の講座 ④教養講座 ⑤子ども夏休み講座								市民								
								【事業をとりまく環境の変化】 趣味や教養の向上を目的とした講座や健康な身体づくりのための体操講座は、受講の年齢層が高齢化している件と、女性の参加率が高くなっているため、受講生募集のターゲットを変えて、講座の充実を図る必要がある。								
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】								
公民館市民講座の開設・運営				公民館市民講座の開設・運営				公民館市民講座の開設・運営								
■事業費																
				R05年度		R06年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	593	703									
歳 入 計 (千 円)				593		703										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)										
	07 報償費			589		699										
	10 需用費			4		4										
歳 出 計 (千 円) (A)				593		703										
伸 び 率 (%)						18.54										
備 考	総合計画 102ページ 予算書 192ページ															

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	市民講座開催数	講座	目標	21.00	20.00	20.00
	広く市民に対し、様々な分野の講座を実施する。		実績	20.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	延べ参加者数	人	目標	1,150.00	1,100.00	1,100.00
	5類となったコロナ感染の状況を把握しながら、公民館利用促進を推進する。		実績	1,061.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	近年の長寿命化を背景に余暇の充実が求められており、市民の生涯学習に対する意欲が高まっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公民館は、生涯学習の拠点であり、市民のニーズに応える魅力的な講座を開設・運営することによって、学びの機会を提供することが責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	生涯学習指導員を配置し、市民のニーズを把握し、市民が関心や興味を持つ講座内容に関する調査や研究を行って、開設する講座を決定している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	生涯学習指導員が講師や関係機関と連携し、コスト的にも効率的に実施されている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	講座参加者は、中高年層の女性の参加が多い傾向にあり、若年層、特に男性の参加者を増やすことが課題である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	子育て関係や夏休み講座は、毎年少しずつ内容を変えたりして、定着している。参加者から要望されている講座も多い。 また、講座の受講生がサークルを立ち上げて、活動を継続している例もある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	少し趣向を変えて、新たな講座の開拓を試み、あまり公民館講座に来ていない若年層や男性層の参加を図っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
講座内容により、受講生が多い講座と少ない講座があり、今後の課題としては、参加者が少ない講座に対して、講師や関係機関と連携し、参加者を増やす方法を考えていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民がどのような講座を望んでいるのか、ニーズの把握や講座の企画・検討などを行うとともに、LINEを活用して周知することによって、若い世代の受講が増えてきたこともあり、今後も、SNS等を活用して、幅広い世代に受講してもらえるよう情報を発信していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 人生100年時代を迎え、市民の余暇活動の充実を図るため幅広い年代の要望に応えられるよう講座内容や開催時間、開催地域などを多様化して各種講座を実施していく必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり